

お年寄りを喜ばせたい！  
三浦ハッピーズの川柳看板



三浦小学校の校区内で、高齢者が集まる場所が一目で分かる「三浦いこいの場マップ」

三浦小学校の6年生8人が、「三浦ハッピーズ」というニックネームで、高齢者をテーマに総合学習に取り組みました。

高齢者に喜んでもらうには自分たちに何ができるか、交流や手紙などいろいろな方法を考えた末に、「5・7・5のリズムにのせて、ハッピーな気持ちになる言葉をプレゼントしよう」と、川柳の看板を立てることに決定。

まず、田野浦・出口地区の高齢者が集まる場所を探したところ、バス停や集会所近くのベンチなど、4箇所あることが分かりました。

そして、「いこいの場マップ」を作製し、12月に、各区長の許可を得て、それぞれのいこいの場に川柳の看板を設置しました。

6年生みんなで考えた川柳は、「ハッピーな気持ちでずっと長生きを」「ほっとする大先輩のその笑顔」「いつまでもその笑顔のままで長生きを」「うれしいなあなが見えるほほえみは」の4句。いつもバス停で友人らと集まっているという女性は、看板を見て「いいねえ」とうれしそうな笑顔を見せていました。



看板は、1カ月に1度、内容を入れ替えるとのこと。毎月の川柳が楽しみです。

※この取り組みは、昨年10月30日、高知県教育界の地道な活動に光を当てる「たんぼぼ教育文化賞」の「ハッピークリエイター賞」を受賞しました。

黒潮町出身のJリーガー！  
藤田泰成選手のサッカー教室

1月14日、黒潮町出身で、FC町田ゼルビア（J2）のDF藤田泰成選手ふじた たいせいのサッカー教室が行われました。NPO 砂浜美術館の主催。

藤田選手が地元でイベントを行うのは今回が初めて。教室には、町内外から小学生約80人が参加し、一緒にウォーミングアップをした後、ミニゲームなどを行いました。子どもたちは「おもしろかった」「リフティングやシュートがすごかった」と、プロの技に興奮していました。



「リフティングで大事なのは、ボールがどこにいてもあきらめないこと」と小学生を指導する藤田選手。

午後の講演会では、藤田選手がプロになるまでの人生を振り返り、「自分が決めた夢は、納得するまで挑戦してほしい」と、子どもたちに応援のメッセージを送りました。

おめでとう！  
統計調査功労調査員感謝状受賞

このたび、経済産業省が実施している統計調査に長年従事された功績が認められ、町内在住の野並出豆男さんが感謝状と副賞を授与されました。

【これまでに従事した統計調査】

- 工業統計調査 15回
- 商業統計調査 5回

長年にわたり統計調査にご協力いただき、ありがとうございます。これからもよろしく願います。



野並出豆男さん

問 本庁総務課企画振興係

☎ 43-2177 (直通)